

# 第19回水シンポジウム2014 in ながさき 開催概要(案)

## メインテーマ (案)

見なおそう! 「水と人との関わり」と今後の備え  
～ 和・華・蘭まちから 水に学ぼう・取り組もう ～

## シンポジウム開催趣旨

長崎県は、わが国の西の端に位置する海洋県で、山が海に迫る地形のために水に乏しい特性があります。このため、かつて住民が協力してつくった水路や、明治期につくられたわが国初の水道専用ダムなど、様々な取組みにより、人々に水の恵みがもたらされてきました。

また、海洋性気候のゆえに豪雨災害を受けやすい特性から、1957年の諫早大水害や1982年の長崎大水害などの大災害で被災し、その度に復興を果たしてきました。

一方、地球温暖化に伴う気候変動の影響により、近年、災害リスクが高まっています。このような今、1571年の開港をへて東西の文化を集め、「和・華・蘭」文化をはぐくんできた長崎のまちには、これからの水と私たちとの関係を見なおす上で、様々な手がかりがあります。

そのような長崎県で、水と人との関わり（治水・利水と環境の調和、大災害への備え、水資源の確保、私たちの水に対する意識や防災意識の向上と行動を促す方策、気候変動への適応策）について議論し、全国に情報発信します。



## プログラム概要 (素案)

8月21日(木) **シンポジウム** 長崎ブリックホール・大ホール 定員 600名

### 午前の部

9:30 開会 (9:00 開場)  
10:00 特別講演「(仮題) 21世紀は水の世紀  
災害と水資源」(日本水フォーラム報告)  
10:40 基調講演「(仮題) 気候変動の影響と  
これからの水と人との関わり」  
11:50 昼休憩

### 午後の部

13:00 **テーマ別分科会**(パネルディスカッション)  
15:10 休憩・移動  
15:30 **みて! 聞いて! 私たちのよか川**  
(子どもたちによるイベント)  
16:00 **全体会議**  
17:00 次回開催県挨拶・閉会 (17:10)

**第1分科会**「(仮題) 水の恵みを守り活かそう ～ 水資源を次世代につなぐ長崎の知恵を再発見～」  
長崎県がかかえる濁水等の問題と、明治期の水道専用ダムにはじまる取組みを専門家の方々にご紹介いただき、私たちにもたらされる水の恵みを見つめ、次世代につなぐ方策を議論します。

**第2分科会**「(仮題) 長崎から取り組もう ～ 水の恐さとやさしさと共に～」  
長崎県内の川で活動する団体や大学生を含めたメンバーにより、非常時と平常時の水のすがたに着目し、水災害に備えたこれからの気候変動への適応策の方向性について意見交換を行います。

8月22日(金) **現地見学会** 「(仮題) 中島川歴史さるく & 稲佐山・浦上川探訪」

ふだん見ることができない歴史的な水に関わる施設など、長崎の新たな一面を再発見します。  
定員：40名 参加希望者のみ 参加費：2,000円(予定：昼食込) 集合9:00、解散16:00

**主催 第19回水シンポジウム2014 in ながさき 実行委員会**

(公益社団法人土木学会 水工学委員会、国土交通省九州地方整備局、長崎県、長崎市)